

第3章



将来像と6つの基本目標

- 1 将来像
- 2 基本目標

3 将来像と6つの基本目標

「みどりをはぐくむ、循環・共生・協創のまち ～GO GREEN いたばし～」の実現に向けて

将来像

「みどりをはぐくむ、循環・共生・協創のまち ～GO GREEN いたばし～」を10年後の将来像とし、区民・事業者・区の協創のもと、区民・事業者が環境のまちづくりの主体となって、まちづくりや人づくり、自然との共生をはじめとした取組を深め、循環させていくことで、みどりをはぐくみ、一人ひとりが環境の恵みによる幸せ（ウェルビーイング）を実感できるまち（持続可能な環境社会）を築いていくことをめざします。

基本目標

将来像の実現に向け、区民、事業者の意識を踏まえた上で、区民・事業者・区の協働により、次の6つを基本目標として取組を進めます。

- 基本目標1 ゼロカーボンがつなぐ
幸せを実感できる環境のまち
- 基本目標2 気候変動に備え 地球に適応するまち
- 基本目標3 資源を大切にすゝる 循環のまち
- 基本目標4 きれいな空気・水・クリーンな住環境を
感じる 安心・健康のまち
- 基本目標5 自然の恵みと共生し
ネイチャーポジティブを実現するまち
- 基本目標6 学び、育て、主体的に行動する
環境人づくり

1 将来像

めざす
将来像

みどりをはぐくむ、循環・共生・協創のまち ～GO GREEN いたばし～

昭和40年代の公害問題に端を発した板橋区における環境への取組は、区民、事業者、区の協働の下、地球温暖化対策、ごみの発生抑制と資源循環、環境教育など様々な課題の解決に向け、取組の幅を広げ、さらに持続可能な社会の構築をめざし発展を続けてきました。

現在、地球温暖化、気候変動対応、資源循環、生物多様性をはじめ、様々な環境問題が地域から地球全体まで広範な影響を及ぼしています。これらの環境問題は相互に、また複雑に絡み合っており、1つの問題にだけ焦点を当て解決策を探るのではなく、相互の関連を意識しながら複合的な解決策を探っていくことが求められています。

このように、環境問題は、地球全体の問題で一人ひとりが環境にやさしい選択をすることが大切となっています。“GO GREEN”とは、「みどり（自然）に向かう」、すなわち「環境にやさしい」を意味します。省エネルギー、リサイクル、廃棄物削減、自然保護など、地球環境にやさしい行動やライフスタイルに取り組んでいきます。

これらを踏まえ、10年後の将来像として、区民・事業者・区の協創のもと、区民・事業者が環境のまちづくりの主体となって、まちづくりや人づくり、自然との共生をはじめとした取組を深め、循環させていくことで、みどりをはぐくみ、一人ひとりが環境の恵みによる幸せ（ウェルビーイング）を実感できるまち（持続可能な環境社会）を築いていくことをめざします。



2 基本目標

将来像の実現に向け、区民、事業者の意識を踏まえた上で、区民・事業者・区の協働により、脱炭素や気候変動対策（緩和と適応）、資源循環、自然環境（生物多様性）の課題に取り組むとともに、基盤となる生活環境を保全し、幸せ（ウェルビーイング）を実感することができるまちづくり（環境まちづくり）をめざします。環境課題は分野を超えた複合的な対応が必要なため、関係部署と連携して組織横断的に取り組みます。そして、これらすべての取組を支える人づくりを進めます。

基本目標 1

ゼロカーボン がつなく 幸せを実感できる環境のまち

脱炭素や気候変動適応、資源循環、自然環境、生活環境、環境教育など、分野横断的に環境に配慮し、幸せを実感することができるまちづくり（環境まちづくり）をめざします。

また、エネルギーの効率的利用や再生可能エネルギーの利用などに取り組み、ゼロカーボンの実現とともに、持続可能（サステナブル）な社会をめざします。

基本目標 2

気候変動に備え 地球に適応 するまち

平均気温の上昇や真夏日・猛暑日の増加、集中豪雨など、地球の気象変化が激しくなっている中で、気候変動の原因となる温室効果ガスの排出を抑制するとともに、気候変動に対応していくため、熱中症対策・水害対策に取り組み、安心して暮らせるまちづくりをめざします。

基本目標 3

資源を大切に作る 循環 のまち

ごみとなるものをできる限り減らし、再生利用しやすい製品を選ぶとともに、再資源化可能なものや、リユースできるものは資源として循環させる暮らし、事業活動を促進し、環境と経済のバランスに配慮した循環のまちをめざします。

基本目標 4

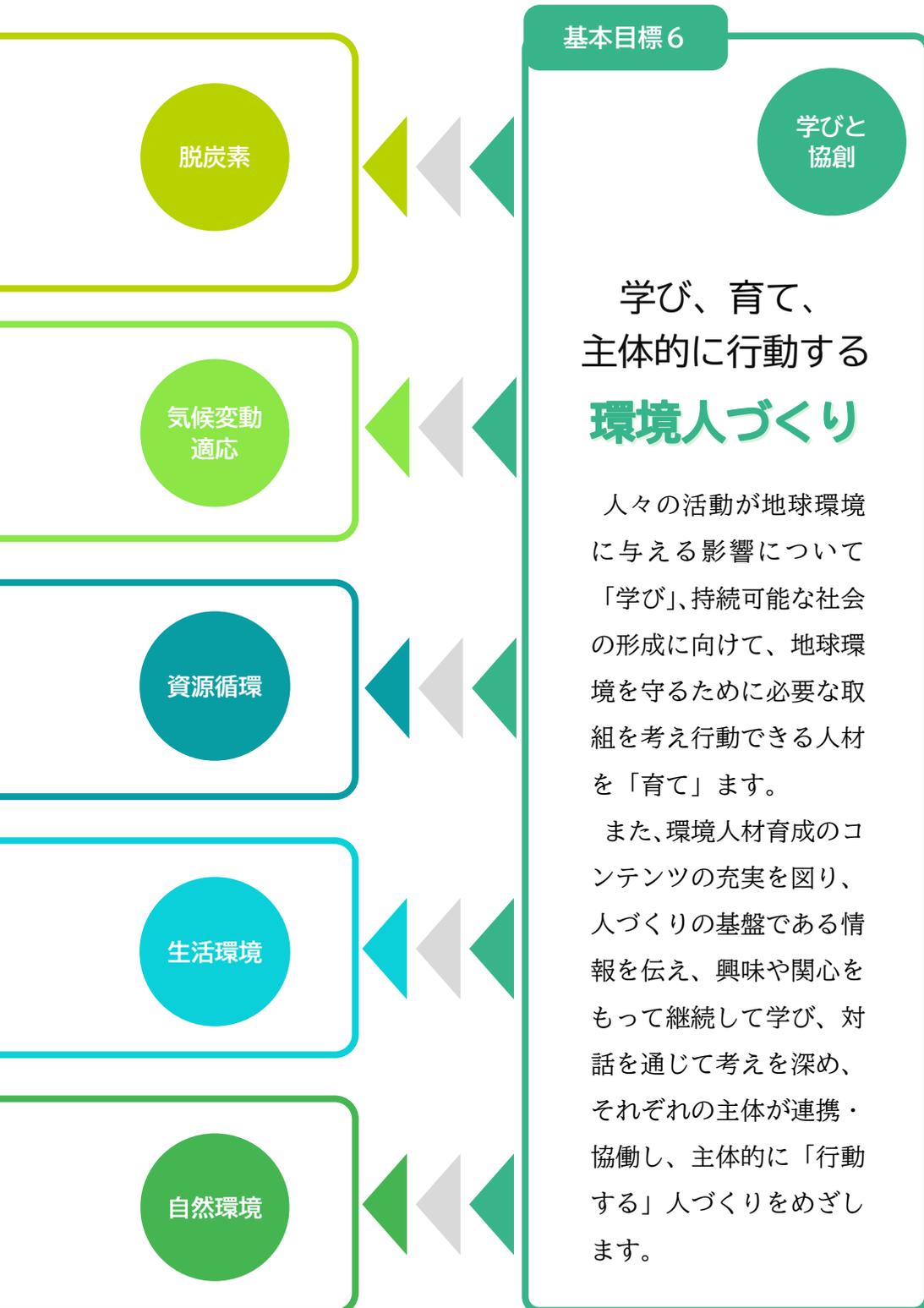
きれいな空気・水・クリーンな住環境を感じる 安心・健康 のまち

大気環境や水環境等に関する基準の遵守や清掃活動等によるまちの美化等の取組を促進し、きれいな空気、清らかな水、きれいなまち（美化）を感じられる安心で健康な生活環境をめざします。

基本目標 5

自然の恵みと共生し ネイチャーポジティブ を実現するまち

動植物等の生物と、それを支えるみどり（崖線のみどりや自然とふれあえる公園・農地、河川、湧水など）が調和する生物多様性への理解と体験を深めることで保全と活用の取組を活性化し、自然の恵みと共生しネイチャーポジティブを実現するまちをめざします。



基本目標6

学びと協創

学び、育て、
主体的に行動する
環境人づくり

人々の活動が地球環境に与える影響について「学び」、持続可能な社会の形成に向けて、地球環境を守るために必要な取組を考え行動できる人材を「育て」ます。

また、環境人材育成のコンテンツの充実を図り、人づくりの基盤である情報を伝え、興味や関心をもって継続して学び、対話を通じて考えを深め、それぞれの主体が連携・協働し、主体的に「行動する」人づくりをめざします。

